

TPC マーケティングリサーチ株式会社

世界の疼痛薬市場について調査結果を発表

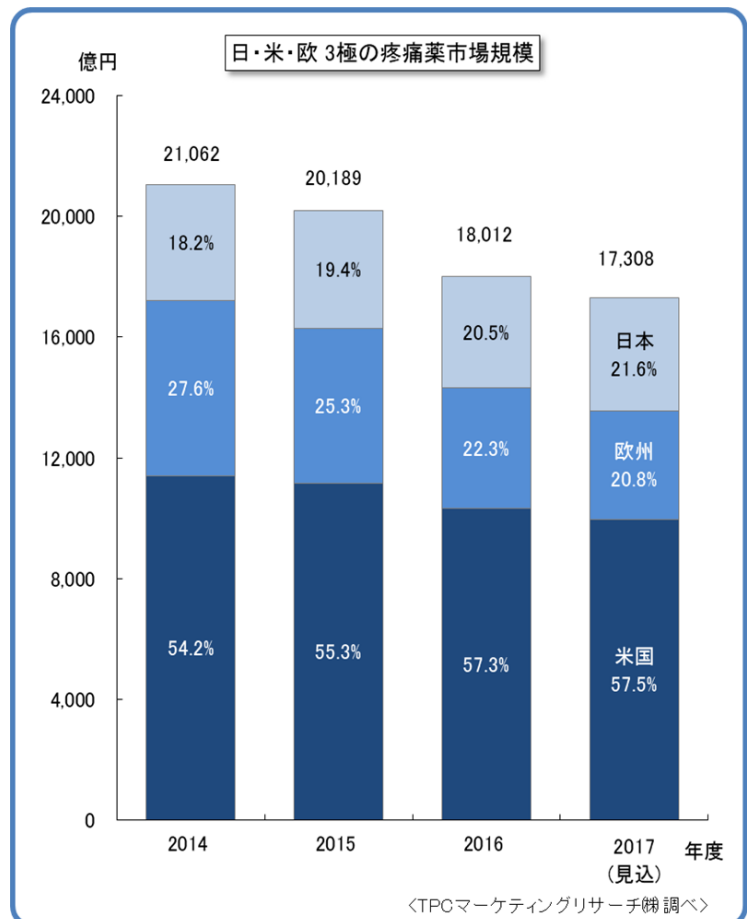
この程、TPC マーケティングリサーチ株式会社（本社＝大阪市西区、代表取締役社長＝川原喜治）は、世界の疼痛薬市場について調査を実施、その結果を発表した。

【調査結果】

2016 年度における日・米・欧 3 極の疼痛薬市場は、1 兆 8,012 億円となった。

各国ともに縮小傾向にあるものの、日本ではオピオイドが堅調に推移している。

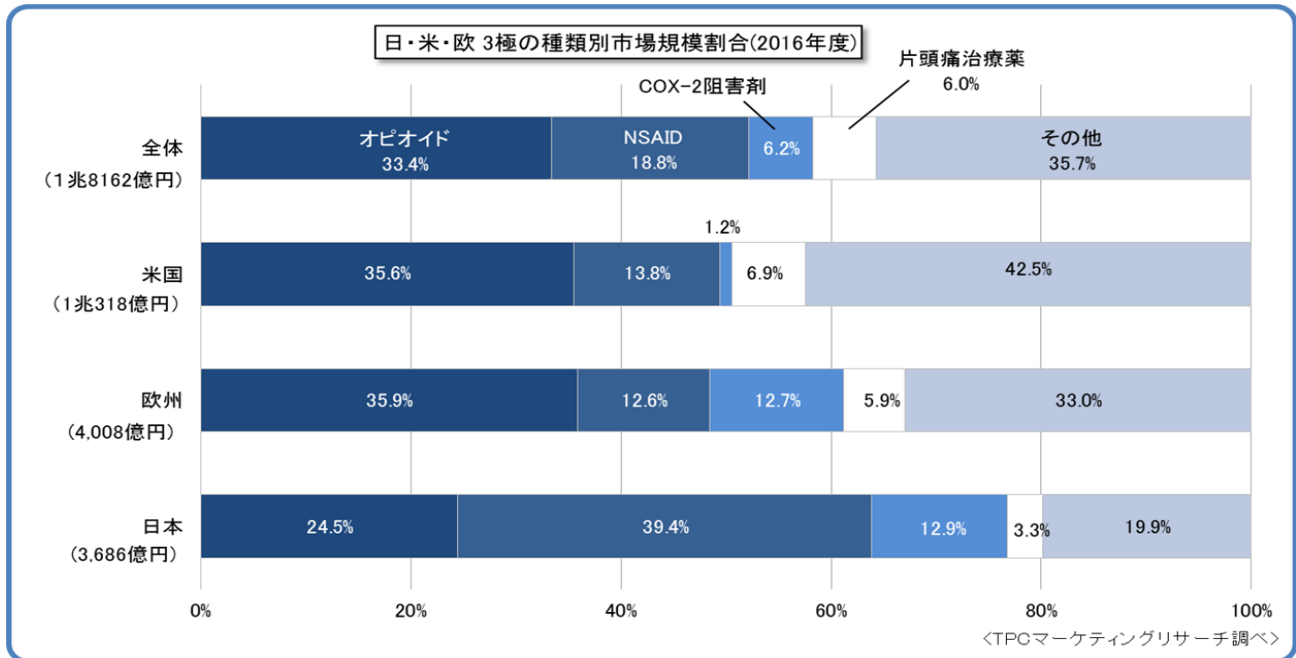
- ・ 2016 年度における日・米・欧 3 極の疼痛薬市場は、前年度比 10.8%減の 1 兆 8,012 億円に縮小した。
- ・ 地域別では、米国がシェア 57.3%の 1 兆 318 億円（94.66 億ドル）で最大となった。ただし、前年度比 7.6%減と市場は伸び悩んでいる。
- ・ 一方、欧州は前年度比 21.6%減（ユーロベース 12.6%減）の 4,008 億円と低迷している。要因としては、主力の「Lyrica」が 2014 年に特許失効したことで、後発品との競合により大幅に縮小したことが挙げられる。
- ・ また、日本も同 5.8%減の 3,686 億円と減退している。同国内での最大市場である外皮消炎鎮痛剤では、「モーラス」や「ロキソニン」といった主要ブランドが後発品の浸食を受け、前年から 15%程度減少している。一方、オピオイドは 2013 年度以降に相次いで投入した新薬が寄与し、堅調な推移となっている。



に相次いで投入した新薬が寄与し、堅調な推移となっている。

種類別にみると、いずれも主力ブランドが後発品の浸食を受け、縮小傾向にある。

オピオイドが最大の33.4%を占め、NSAIDが続く。

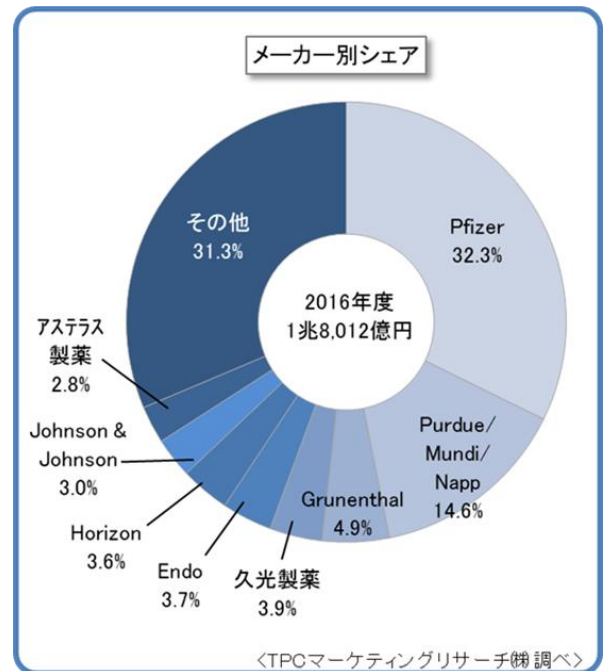


- 種類別にみると、オピオイドが最大の市場を形成。前年度比 12.0%減の 6,010 億円となった。全体では減少したものの、日本市場では同 3.0%増の 902 億円となった。要因としては、2013 年度以降に上市された「メサペイン」「イーフェンバツカル」「アブストラル舌下錠」「タペンタ」等の新薬が寄与したことが挙げられる。米国市場では同 16.3%減（ドルベース 7.1%減）の 3,670 億円（33.67 億ドル）、欧州市場では同 8.6%減（ユーロベース 2.0%増）の 1,438 億円（11.88 億ユーロ）となった。両地域ともに「OxyContin」が大幅に減少している。
- NSAID（外用剤を含む）は、同 11.5%減の 3,384 億円となった。最も市場規模の大きい日本も、同 13.8%減の 1,453 億円と 2 桁減で推移。日本では、外用剤の売上がおよそ 8 割を占めているが、主力製品の「モーラス」や「ロキソニン」が後発品の浸食を受けたことが響いた。米国市場では、同 10.0%減（ドルベース 0.1%減）の 1,426 億円（13.08 億ドル）となった。さらに、欧州市場では同 9.2%減（ユーロベース 1.3%増）の 505 億円（4.17 億ユーロ）となったが、現地通貨ベースではわずかに前年を上回った。主力の「Voltaren」が年々減少傾向にあるものの、その他のブランドは堅調に推移している。
- このほか、COX-2 阻害剤は、同 11.3%減の 1,110 億円となった。同剤は、主力ブランドの「Celebrex」が欧米で後発品の浸食を受け縮小しているものの、日本市場では同 2.1%増の 476 億円とわずかに拡大している。

メーカー別では、Pfizerがシェア32.3%の5,813億円（53.33億ドル）でトップ。

各社が苦戦する中で、Grunenthalのみは好調に推移した。

- メーカー別では、Pfizerがシェア32.3%を占める5,813億円（53.33億ドル）でトップとなった。次いで、Purdue/Mundipharma/Nappが同14.6%の2,627億円(24.10億ドル)、Grunenthalが同4.9%の883億円（7.30億ユーロ）、久光製薬が同3.9%の696億円、Endo Internationalが同3.7%の666億円（6.11億ドル）と続いている。
- トップのPfizerは、前年度比7.6%減（ドルベース2.5%増）となった。同社では、主力の「Lyrica」が日本および米国で堅調に推移したものの、欧州では後発品の浸食を受け、大幅に縮小している。
- Purdue/Mundipharma/Nappは、同17.4%減（ドルベース8.3%減）となった。主力の「OxyContin」が米欧で特許失効により、後発品の浸食を受けたことで、いずれも2桁減で推移している。
- Grunenthalは、同2.9%増（ユーロベース14.8%増）と現地通貨ベースで大幅増となった。これは、主力の「Palexia」「Versatis」「Arcoxia」といったブランドが、いずれも現地通貨ベースで2割以上増加したことが寄与している。
- 久光製薬は、同13.5%減となった。要因としては、最主力製品の「モーラステープ」が「ロキソニン」（外用剤）や後発品との競合により、2割近く減少したことが挙げられる。
- Endo Internationalは、同27.9%減（ドルベース20.0%減）と大幅に減少した。これは米国において、主力である「Voltaren Gel」の後発品が2016年7月に発売されたことが背景にある。これにより、同剤の売上が5割以上減少している。



【調査要覧】

<調査対象>

非ステロイド性抗炎症薬(NSAID)、オピオイド、片頭痛治療薬、
その他疼痛関連薬（線維筋痛症治療薬、帯状疱疹後神経痛（PHN）治療薬（ほか）

<調査対象企業>

日本企業編（武田薬品工業、アステラス製薬、第一三共、塩野義製薬、日本新薬、久光製薬）
海外企業編（Pfizer、Johnson & Johnson、Endo International、Allergan（旧 Forest Laboratories）、
Teva Pharmaceuticals、Purdue/Mundipharma/Napp）

<調査期間>

2017年12月～2018年5月

<資料名>

「2018年 世界の疼痛薬市場」

—抗体製剤の開発が活発化する疼痛薬市場—

<http://www.tpc-osaka.com/fs/bibliotheque/mr310180378>

発刊日：2018年5月15日 頒価：97,000円（税抜）

【会社概要】

会社名：TPC マーケティングリサーチ株式会社

所在地：大阪府大阪市西区新町 2-4-2 なにわ筋 SIA ビル

事業内容：マーケティングリサーチおよび調査レポートの出版

コーポレートサイト：<http://www.tpc-cop.co.jp/>

オンラインショップ「TPC ビブリオテック」：<http://www.tpc-osaka.com/>

ISO27001 認証書番号：IS598110

【本件に関するお問い合わせ】

フリーダイヤル：0120-30-6531